

2023年度

科目名称	運動学
授業コード	AF202
英語名称	Kinesiology
学期	2023年度通年（前・後）
単位	2.0
担当教員	昇 寛 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	理学療法士として病院のリハビリテーション科で20年の臨床経験を持つ教員がリハビリテーションや身体評価法に関して実践的な内容の授業を行う。 【社会的基礎能力】医療者として必要な運動学の基礎知識を養う。 【自己実現能力】柔道整復師として責任ある医療を実現数するためにヒトの運動学的基礎知識を獲得する。 【組織行動能力】多角的な学習を達成するために、グループ学習や問答形式の学習方法を習得する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	臨床経験20年の教員が、病院・施設・地域での活動を再現しながら、臨床応用可能な授業展開をする
到達目標	【科目特有の知識技術についての到達目標】運動学の基礎知識の獲得と応用技術の実施が両立できる。 【汎用能力としての学士能力についての到達目標】運動学は、解剖学と生理学の応用的学問である。つまり。基礎力と応用力を備えることが出来る。
計画・内容	【前期】 1)運動学の基礎(力学、てこ等) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 2)運動学の基礎(力学、てこ等) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 3)運動学の基礎(力学、てこ等) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 4)運動学の基礎(力学、てこ等) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 5)運動学の基礎(力学、てこ等) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 6)運動学の基礎(力学、てこ等) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 7)運動学の基礎(力学、てこ等) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 8)運動学(上肢、下肢、体幹、頭部、頸部) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 9)運動学(上肢、下肢、体幹、頭部、頸部) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。 10)運動学(上肢、下肢、体幹、頭部、頸部) 昇 予習) テキストの関連箇所を読んでおくこと。 復習) 授業での資料と説明を読み直しておくこと。

2023年度

授業の進め方	座学と実技を適宜必要に応じて実施する
能動的な学びの実施	各種アクティブラーニングを採用して授業展開する
授業時間外の学修	教科書を基に事前学習を60分行い、授業内容を基に70分の事後学習をおこなう。
教科書・参考書	「運動学 改訂版3版」全国柔道整復学校協会監修 「リハビリテーション医学改訂3版」全国柔道整復学校協会監修
成績評価方法と基準	課題レポート、試験成績等を総合的に評価する。
課題等に対するフィードバック	各回の授業において、教科書を基に振り返りレポート用紙を配布する。その翌週の授業に提出し、その翌週の授業で学生に対しフィードバックする。
オフィスアワー	Campus squareを参照すること
留意事項	授業は前期15回、後期15回実施する。前期・後期とも関連する項目が多いので欠席することないようにして下さい。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方：原則的には対面授業、又はオンライン授業を実施する。場合によっては、課題レポートの提出を課す。 成績評価方法と基準：授業への出席と課題提出の内容で総合的に評価する。